

令和6年度 学校教育目標達成に向けた評価項目 三者一覽表

	No.	児 童	保 護 者	教 職 員
自主	1	学校の勉強(授業)は、よくわかる。	子どもは、基本的な学習内容を理解している。	よくわかる楽しい授業をめざし、指導方法などの工夫・改善に努めている。
	2	タブレットなどICT機器を使うと、授業がわかりやすくなる。	子どもは、持ち帰ったタブレットを家庭学習(宿題、自主勉強)に活用している。	GIGAスクール構想の推進は、指導環境の向上につながっている。
	3	先生や友達の話をよく聞き、自分の考えをしっかりと友達や先生に伝えている。	子どもは、家族の話をよく聞き、自分の考えを言うことができる。	他者と意見を交換し、賛同や相違を共することで学びを深める授業を実践している。
	4	授業で学んだことを、生活で役立てようとしている。	子どもは、学校で学習したことを生活に役立てている。	学習したことを生活に役立てられる、社会に開かれた教育活動を実践している。
	5	宿題に、毎日ていねいに取り組んでいる。	家庭では、毎日、宿題への取組に声かけをしている。	授業の復習・予習となる、適切な宿題を出すと共に評価している。
	6	宿題以外に、家庭で自主勉強をしている。	「家庭学習の手引き」や「自主勉強の手引き」を活用して、自主勉強に取り組むよう励ましている。	「家庭学習の手引き」や「自主勉強の手引き」の活用など、家庭学習への取り組みを指導している。
	7	毎日、本や新聞を読んでいる。	家庭で、読書への声かけや環境作りを行っている。	児童が本を読むように、図書の貸し出しや読み聞かせ等に取り組んでいる。
創造	8	福井小学校の学校生活は、楽しい。	子どもは、毎日、学校に行くのを楽しみにしている。	楽しい学校・学級づくりをめざし、日々の教育活動を工夫している。
	9	毎日、早寝早起きし、朝ご飯を食べて登校している。	家庭では、早寝早起きさせ、朝食を食べて登校させている。	規則正しい生活や朝食の大切さについて指導している。
	10	できるだけ、歩いて通学している。	家庭で安全について話し合い、可能な範囲での徒歩通学をさせている。	家庭の意思を尊重しつつ、徒歩通学の意義と実践を呼びかけている。
	11	休み時間は外で遊んだり、サーキットや体育の授業で運動するのが楽しい。	子どもは、外遊びや体力づくりなど、運動習慣が身に付いている。	体育の授業を中心に、運動に親しむ機会を設け、児童の体力向上に努めている。
	12	学習や運動・行事などでは、自分が活躍することがあった。	子どもは、学習や運動・行事などで自信を高めている。	児童の適性や能力の正しい把握に努め、個に応じた指導を工夫している。
	13	何でも相談できる先生や友達がいる。	家庭では、学校生活(学習や交友関係など)について話題にしてる。	児童の言葉に耳を傾け、公平に接している。
	14	先生は、よいところやがんばりをほめてくれる。	家庭では、子どものよさやがんばりを賞賛している。	PBSの視点から、一人ひとりのよさやがんばりを認め、丁寧に伝えている。
感謝	15	家族、友だち、先生、地域の人に「あいさつ・返事・ありがとう」が言えている。	子どもは、気持ちのいい挨拶をし、場に応じた言葉づかいをしている。	挨拶・言葉遣い等について、自ら範を示すと共に、機会を逃さず指導している。
	16	自分は、学校や学級のきまりを守っている。	家庭では、社会のルール・マナーを守ることを大切にしている。	年間計画に基づいて、道徳教育の要として道徳科の授業を実施している。
	17	学級の当番や係の仕事、そうじをきちんとやっている。	家庭では、いずれか家事(仕事)を任せ、働く意欲の素地を育てている。	集団の一人として、集団生活をよりよくしようとする意欲と実践力を育てている。
	18	いじめや差別、悪口、仲間はずしをせず、学年をこえて仲良くしている。	家庭では、悪口や乱暴な言葉づかいを慎むと共に、「いじめをしてはいけない」と教えている。	年間計画に基づいて、自分も他人も大切にすることを意識と行動力を育む人権教育に取り組んでいる。
	19	地震や火事・不審な人が現れた時、どのようにしたらよいか知っている。	避難場所の確認など、防災に関する話を家族でしている。	避難訓練、アラーム訓練、防災訓練を機会とし、知識と技能の更新に取り組んでいる。
	20	ゲームやスマホを使う時間やノーメディアデーなどを決めて、行っている。	ゲームや動画視聴のきまりやノーメディアデーを決め、児童のゲーム・スマホ依存予防に努めている。	ゲーム・スマホ依存について理解し、家庭と連携してその予防を啓発している。
	21	自分の住んでいる町(阿南市や福井町など)が、好きだ。	家庭では、市や福井町の行事などに、できるだけ参加している。	地域の教育資源を活用した教育活動を通して、郷土を愛する気持ちを育てている。
22	自分には、夢や目標、やりたいことがある。	子どもは、将来の夢や目標をもって生活している。	『社会に開かれた教育課程』の下、児童の社会的・職業的自立に向けて指導している。	
学校の取組	23	<楽しい学校>	学校は、生命を大切に心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	児童の生命尊重及び規範意識を育てている。
	24		学校は、地震・津波・豪雨・火事・台風・不審者等への対応について、児童への指導や保護者への連絡ができています。	危機管理意識をもって、安全教育・防災教育に取り組んでいる。
	25	<伸びる学校>	学校での勉強はわかりやすく、児童に学力がついている。	『授業が命』を信念とし、個の事実を把握してよくわかる授業の実践に努めている。
	26		学校は、いじめや仲間はずしのない集団づくりに取り組んでいる。	いじめや様々な問題行動の防止に、組織の一員として取り組んでいる。
	27	<美しい学校>	学校は、安全・安心な施設・設備等の維持・管理に努めている。	日直業務、毎月の施設設備点検を通して平時を把握し、異常に迅速に対応している。
	28		学校は、児童が学びやすい環境維持に努めている。	衛生管理や美化推進に努め、学びやすい環境作りに取り組んでいる。
	29	<開かれた学校>	参観日やPTA行事は、日時等、参加しやすい。PTA活動は有意義だと感じる。	保護者との意思疎通の機会を大切に、成長支援への情報共有に努めている。
30		学校から保護者への事務連絡は適切である。また、学校・学年から教育活動の様子やねらいが分かりやすく伝えられている。	通知や案内、さらには各種たより、学校ホームページ、マチコミメールなどで、教育活動の様子やねらいを積極的に伝えている。	
学校運営	31			学校運営に、教職員の意思が反映されている。
	32			教職員間で、児童や保護者について日常的に報告・連絡・相談している。
	33			様々な問題行動や課題に、学校は組織的に対応している。
	34			職員会、終礼、職員研修は、有効に機能し、役立っている。
	35			日々の活動における問題や悩みについて、相談し合える教職員同士の人間関係ができています。
	36			勤務区分の明確化や不祥事防止など、服務規律を遵守している。
	37			タイムマネジメントに基づいて業務改善に取り組みつつ、ワークライフバランスを考えながら日々の職務に専念している。